

側に「布引山登山口」の道標があり、左手奥に廃屋が見える。自動車はこの辺に置き、登り始めることとなる。ここから左側の尾根に取り付き、尾根の南側に出ると高圧線の鉄塔が見えてくる。ここまで百五十メートルほどである。さらに中三メートルほどの雑木林の中を、気持ちよく尾根道を登ること百五十メートルほどで道は十字路になる。左（南側）へ進むと次の高圧線の鉄塔にたどり着ける。そこはテレビ塔から山頂に向かう道に合流する所でもある。山頂への道は真中の道をさらに尾根伝いに登ること約百五十メートル。道は途中から尾根沿いに、やや右に曲がりながら進むと、山頂が見えてくる。このルートは、道標から三十分程の行程だが、やや急な尾根道を登るので、布引山へ行く道としては一番登りがいのあるルートである。

### 【小ヶ坂から山頂へ】

小島の小ヶ坂から布引山に向かう道は、戦前には生活道路だったらしく、川俣へ行く時は一番の近道につき、部落総出で土用の丑の日には道路の刈り込みを行った。今ではこのルートを通ることもなくなり、かすかに道型が残っているくらいである。

岩阿久いわひさから小ヶ坂に登って行って最初に左に入る道を五百メートル程入ると、三軒目の藤原宗一さん宅にたどり着く。ここが行き止まりである。藤原さん宅の木戸口から布引山（南の方角）を望むと、水田や桑畑の見える沢がある。この沢の西側（右手）の桑畑から登りはじめて三百メートル進むと正面の杉林に入る。十メートルほど杉林に入ってから右側に折れ、尾根に上がる。しばらく急な登りを登りあげると堀切道に出る。この道は小島の房又からの道にも使われていたらしく二十メートルほど東側には馬頭観音の碑がある。この堀切を二百メートルほど登ると、倉ヶ作からの道と合流する。山頂までは百メートルほどで三分もあれば到着する。



馬頭観音の碑